

吉野川水力地點表

水量ニキチ附セルハ概定數ナリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	互水路	面積	能發電	年平均馬力數	等級
一〇六六	吉野川	六	岡山縣勝田郡湯郷村 位田「オノ」山川	同 飯岡 飯岡村 飯岡山川	湯水*二九五 低水*四三〇 平水*五五一	六二	二、九五九 三、七九二	五、一〇〇 五、三〇〇	三、三〇〇 三、三〇〇	六六七 六六三	二、六六一 三、三〇〇	丙

水力地點ノ説明

順位一、〇六六 主トシテ河川屈曲ヲ利用スルモノニシテ右岸ニ取入レ隧道延長約一、七〇〇間開渠延長約二、四九〇間トス、用水ハ四箇所ニ合計約二、四〇〇個ヲ引用シ一七四町歩ノ水田ヲ灌溉スルモノアリ利用ノ際ハ之ヲ二六個以内ニ限定シ分與スルモノトス。荷舟ニ對シテハ其ノ數量少ナキヲ以テ出發點ヲ本地點放水口以下ニ變更セシメ筏ニ對シテハ水路ヲ筏路ニ併用セシムルヲ宜トス

第十八章 旭川水系

第一節 概説

地形 本流域ハ吉井川流域ノ西ニアリテ美作、備前ノ西部ヲ占メ北ハ伯耆ノ國界ヨリ南ハ兒島灣ニ連ナリ面積

一〇六五方里ニ達ス。本流域ハ上流部ニ於テ廣濶ニシテ支流多キモ中流以下其ノ幅狹ク支流ニ乏シ、北方一帶ハ蛭山連嶺ヲ負ヒ其ノ南ニ於テ中國山脈ハ之ト相並行シテ連亘シ其ノ餘勢ハ南方ニ傾斜シ以テ本川上流ヲ三流域ニ分テリ、其ノ中部ヲ占ムルハ本流域ニシテ眞庭郡ノ大部ヲ包括シ蛭山ノ南麓ヨリ中國山脈ヲ横斷シテ其ノ南面ニ連リ西ニ笹ヶ山、星山ノ連山ヲ繞ラシ東ニ入道山、霞山ノ高峰聳エテ土地高ク其ノ西ニ隣接シ高梁川トノ間ニ眞庭郡ノ一部ヲ占メテ狹長ナル流域ヲナスモノ之ヲ新庄川トイフ而シテ入道山、霞山ノ東ハ目木川流域ニシテ吉井川水界トノ間ニ苦田郡ノ西部ヲ包括シ小流域ヲナセリ。以上ノ三流域ハ本水系ノ主要ナル水源地ニシテ地勢上流部ハ極メテ緩傾斜ヲナシ漸ク下リテ稍急峻ナル連嶺トナレルモ三川合流以下ハ概シテ低山起伏シ諸所ニ平野開ク

地質 旭川上流部及目木川沿川ハ火山岩斑岩花崗岩等主トシテ火成岩ヨリ成リ稍下レハ秩父層トナリ第三紀層之ニ介在シ下流部ハ秩父層ニ火成岩狹在シ洪積層諸所ニ散在ス。新庄川ハ上流部斑岩及花崗岩ニシテ下流部ハ秩父層ナリ

間部ニ至リ漸次低下シ一〇度内外ニ達ス

第二節 旭川

林野狀態 流域内官林ハ約五方里ニ達スレトモ下流備前國ニ多ク水源林トシテハ目木川流域ニ若干之ヲ有スル

一、河川狀況 水源ヲ蛭山連嶺ノ南麓ヨリ發シ始メハ其ノ麓ニ沿ヒテ東流スレトモ連嶺ノ盡ル處ニ於テ俄然其ノ流路ヲ南ニ轉シ數多ノ小流ヲ合セツツ勝山町ニ至リ此處ニ美作備前、伯耆ノ國境ヨリ來ル右支新庄川ヲ合ス、勝山町ノ南ニ於テ川ハ急ニ東ニ折レ久世町ニ至リ再ヒ俄ニ南ニ向ヒ東北ヨリ來ル目木川ヲ合シ落合町ニ至リテ西南ヨリ來ル備前中川ヲ容レ東南ニ向ヒテ遂ニ美作備前ノ國界ヲナシ小屈曲甚タ多ク福渡ヨリ美作ヲ去リテ備前ニ入り南流シテ岡山市ヲ過キ兒島灣ニ入ル。此ノ流路約三七里ナリ

地目面積表

旭川 (流域内入口以水)	河川名		地目		計	合計
	面積(方里)	同百分率	耕地	山林		
旭川	八六	二〇〇	針葉樹林	闊葉樹林	計	一〇〇〇
	三六	八三	針葉樹林	闊葉樹林	計	
同百分率	二〇〇	三六	二〇〇	八三	二〇〇	一〇〇〇

ニ過キス、本支川トモ其ノ上流部ハ概ネ原野若ハ裸地ニシテ樹林ヲ見ス稍下リテ濶葉樹林ハ沿岸ノ山腹ニ繁生スルモ山嶺ニハ依然原野多ク點々植林アルモ其ノ規模小ナリ而シテ耕地ハ旭川及新庄川ノ上流ニ可ナリ廣ク散布セラレ勝山、久世ノ盆地並支川備前中川流域ニ最廣ク存ス

氣象狀態 雨量ハ岡山附近ニテ一、一〇〇耗内外、中流部ニテ一、六〇〇耗内外ヲ示シ美作北部ニ至リテ二、〇〇〇耗内外ニ達ス。氣温ハ下流部ニテ平均一六度内外ヲ保チ山

上流部ハ臺地ヲ流ルルヲ以テ兩岸開ケ甚タ緩流ナルモ下長田附近ヨリ其ノ方向ヲ南ニ轉シ中國山脈ヲ横斷スル頃ヨリ兩岸ノ山勢愈迫マリ屈曲勾配ヲ増加ス流下勾配ハ下和川落合ヨリ勝山町ニ至ル間平均一二〇分ノ一ニシテ沿岸ニハ多少ノ耕地アルモ山勢概ネ急峻ニシテ河岸河床ニ岩盤ヲ露出ス、勝山ヨリ落合ニ至ル間ハ耕地ノ間ヲ流下シ其ノ勾配平均三三〇分ノ一ニシテ河床砂礫多シ、落合町

ヨリ下流ハ谷再ヒ迫マリ平地ニ乏シキモ兩岸ノ山勢緩ニシテ河幅廣シ屈曲多ク河床ハ砂礫ニシテ概ネ緩流ナリ流下勾配ハ落合ヨリ西川堺和村界間五五分ノ一ナリ

水力ヲ利用シ得ヘキ範圍ハ下和川口ヨリ勝山町ニ至ル約八里ノ間ヲ有望トス落合ヨリ下流約七里ノ間亦低落差トシテ利用シ得ヘシト雖勾配地勢舟楫ノ關係等考慮セサルヘカラス。而シテ流量ノ變化ニアリテハ直接之カ調査ヲ行ハサリシヲ以テ其ノ詳細ヲ知ル能ハサルモ新庄川ニ於ケル變化ト大差ナキモノト認ム

三、水利及治水 本川ハ上流ヨリ耕地多ク灌漑期ニ於テ下流ノ流量ニ及ホス影響少ナシトセス然レトモ落合ヨリ下流福渡ニ至ル間ハ用水ノ關係全ナシ

旭川水力地點表

水量ニ*ナ附セルハ概定數ナリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	亘水路	流域面積	發電率	年平均馬力數	等級
一〇六七	旭川	三	岡山縣眞庭郡津田村 舞高瀬	同 郡津田村 吉開原	洪水* 五五〇 低水* 八一〇 平水* 二二〇	四二	二五五四 三七七六 五一七五	三、五〇〇	六、四四四	一〇〇〇	二、五八四 三、六四八 四、五三三	丙

水力地點ノ説明

順位一、〇六七 取入口ニ堰堤ヲ築キ水位ヲ約八尺高メ

テ右岸ニ取入レ大部分開渠隧道一箇所延長約六〇〇間ニ依リ導クモノトス。本地點ニハ多量ノ流筏ト少量ノ舟楫

アリ筏ニ對シテハ使用水量多キヲ以テ之ヲ水路ニ依ラシメ得ヘキモ舟ニ對シテハ此ノ間陸路ニ依リ聯絡セシムルカ或ハ別ニ適當ナル設備ヲ講スヘキモノトス。灌漑用水ノ關係ナシ

沿川ニ縣道通スルヲ以テ運搬ニハ甚タ便ナリ加フルニ地形概ネ緩ナルヲ以テ工事ノ施行亦容易ナリトス

第三節 新庄川

一、流域 地形 本川ハ旭川流域ノ上流西部ヲ占ムル支流ニシテ北ニ中國山脈ヲ負ヒ地勢南ニ向ヒテ傾斜シ面積一、二七二方里ヲ有ス。北方分水嶺ノ最高峰毛無山ハ海拔一、二一八米ヲ算シ附近一帶急峻ヲ極メ耕地少シ稍下レハ遠ニ平坦ナル地區ニ出テ新庄村ノ中部ニ於テハ良田多ケレトモ美甘村ニ入りテハ溪狹ク山勢相迫リテ全ク山間部トナリ土地ノ傾斜稍急ナリ

地質 上流部主トシテ花崗岩ニシテ斑岩之ニ介在シ下流部ハ秩父層ニ屬シ鬼ノ穴附近石灰岩及蛇紋岩露出ス

林野狀態 潤葉樹林ハ上流部ヲ占メ栗檜等ヲ主トスルモ分水嶺附近ハ概ネ原野ナリ下流部ハ針潤混森林ニシテ粗雜林多ク諸處植林アルモ其ノ規模小ナリ而シテ耕地ハ

上流新庄美甘ノ臺地ニ多ク月田川沿川ニ最廣ク存ス

地目面積表

河川名	地目		山林地				合計
	耕地	原野	針葉樹林	潤葉樹林	針潤混森林	計	
新庄川 (延長測量以上)	二、三三	一、八〇	〇、〇三	二、九六	〇、五五	二、六六	六、六六
同	三、三三	二、八〇	〇、三九	三、八五	二、二五	四、〇〇	一〇、〇〇
同	三、〇二	二、五〇	〇、二八	三、五八	二、五五	三、六六	一〇、〇〇
同	三、六六	二、八七	一、〇〇	三、五八	二、五五	三、六六	一〇、〇〇
同	三、〇二	二、五〇	〇、二八	三、五八	二、五五	三、六六	一〇、〇〇

二、河川狀況

水源ヲ金ヶ谷山、毛無山等ノ溪流ヨリ發シ

テ新庄村地方ヲ南ニ向ヒ大字新庄ヨリ出雪街道ニ沿ヒ美甘村ニ入りテ東ニ流レ再ヒ南ニ向ヒテ月田村ニ至リ此ノ處ニ於テ右支流月田川ヲ合セ東北ニ轉シテ勝山町ノ南ニ至リ旭川ニ注ク此ノ流路約八里ナリ

水源ノ溪流部ヲ脱シ新庄村ノ中央ヨリ美甘村ノ北方ヲ流下スル附近ハ谷開ケ岸低ク田野ノ間ヲ流レ勾配比較的緩ナルモ大字美甘以下ハ谷迫リ岸高ク急峻ニシテ斷崖諸所ニ屹立シ屈曲多ク河床概ネ岩盤ヲ露出ス流下勾配ハ美甘、延風間七四分ノ一、延風以下平均九四分ノ一ニシテ隨所ニ其ノ水力ヲ利用スルニ足ル、出水ニ際シテハ洪水位極メテ低ク河床ノ移動變化スルコト一般ニ少シ

本川洪水期ハ主トシテ夏季灌漑期ニシテ五、六月頃ニ於

テ水量最潤渇シ秋季ハ稍低水冬季ハ概シテ平水ニ近ク春季ニ高水多シ而シテ最大洪水ノ起ルハ概ネ夏季若ハ秋季ナリ

新庄川 流量表

順位	舊順位	河川	測水所	面積	流量				流域一方里當流量			
					年次	最大	平水	低水	最大	平水	低水	最大
二七五	六〇〇	新庄川	岡山縣眞庭郡美甘村	六六	大正八年 一、四三〇	九三	七〇	五三	二〇五	一三三	一〇〇	七六
			岡山縣眞庭郡美甘村		大正九年 三、三三〇	一四七	一〇三	六〇	四七五	二二二	一四八	八六
			岡山縣眞庭郡美甘村		大正十年 四、九六〇	二七	一〇四	七五	七二	一九六	一四九	一〇七
			岡山縣眞庭郡美甘村		大正十一年 二、四七〇	一	一〇四	六二	三九三	一九六	一四九	一〇七
				平均	二、四七〇	二六	九三	六三	一六〇	一三三	一〇〇	七六

三、水利及治水 上流ニハ水田多キヲ以テ之ニ要スル灌漑用水量多量ニシテ夏季潤渇ヲ來シ易シ而シテ流木ハ月田川合流點以下ニ於テ少量ノ管流アリ

本川下流部ニハ眞庭電氣株式會社ニ屬スル小發電所アリ

新庄川 水力地點表

順位ニハテ附セルハ許可地點ト關係アリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	亘水長路	面積	能發電率	年平均馬力數	等級
一〇六八	新庄川	一	岡山縣眞庭郡美甘村 美甘首切	同 眞庭郡美甘村 八反	湯水 五三 低水 七七 平水 一〇五	三三〇	一九四一 二、八二一 三、八四六	二、六〇〇	五八三	一〇〇〇 九六六 八七六	一九四一 二七五 三三六九	甲

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	亘水長路	面積	能發電率	年平均馬力數	等級
一〇六九	同	二	岡山縣眞庭郡勝山町 神代「マンゴツ」	同 眞庭郡勝山町 本郷川西	湯水 五七 低水 八七 平水 一二〇	三七八	二、三九二 三、六五〇 五、〇三五	三、〇〇〇	七〇一	一〇〇〇 九六六 八七六	二、三九二 三、五三六 四、四二二	甲

水力地點ノ説明

順位一、〇六八 河川ノ小屈曲ヲ利用スルモノニシテ其ノ左岸ニ取入口ヲ設ケ隧道延長約八〇〇間開渠延長約二、〇〇〇間トス、用水流木其ノ他關係ナシ

順位一、〇六九 本地點ハ新庄川ノ大迂曲ヲ利用スルモノニシテ左岸ニ取入レ隧道延長約七五〇間開渠延長約二、二五〇間ヲ開鑿シ旭川本流ニ放流ス而シテ取入口ニハ現在用水引入口ヲ利用シ在來水路約一四町ヲ改築共用シ灌漑反別約三〇町歩ニ對スル所要水量約六個ハ適當ノ箇所ニ於テ之ヲ分水スルモノトス尙下流ニハ小用水アルモ之ニ對シテハ溪流竝ニ支流月田川ノ水ヲ以テ充分ナルヘシ本地點内ニハ眞庭電氣株式會社ノ經營地點アリ其ノ使用水量ハ四六個落差ハ四九尺ニシテ本地點利用ニ當リテハ此ノ地點ヲ相當處置スルノ要アリ。流木ハ月田川合流點ヨリ下流ニ行ハルモ此ノ間道路通スルヲ以テ其ノ出發點ヲ下流約二〇町ナル勝山合流點ニ變更セシムルモノトス

第十九章 高梁川水系

第一節 概説

地形 本流域ハ備中一圓、備後東部ニ互リテ其ノ形南北ニ長ク長方形ヲナシ面積一七六方里ヲ占ム。四面山嶽ヲ以テ圍繞セラレ北方ハ中國山脈ニシテ最高ク海拔一、〇〇〇米ヲ超ユル高峰相連ナリテ伯耆ト界シ其ノ支脈南ニ走リ東ハ備前、美作ノ國境トナリ西ハ備後東部ヲ抱キテ江川流域ニ相對シ其ノ中間二條ノ山脈ニヨリテ三箇ノ流域ニ分タル其ノ最高地ナルハ本流域ノ西北隅ニ立テル三國山ヨリ分レテ備中、備後ノ國界トナリ折レテ流域ノ中央南部ニ至ル連嶺ヲ界トシテ其ノ東西ヲ占ムル地域トナス。東ハ阿蘇郡全部及上房川上二郡ノ一部ヲ抱キテ本川ノ上流域ヲナシ西ハ支流東城川下流成羽川流域ニシテ比婆神石川上ノ三郡ニ跨リ全面積ノ約三割ヲ占ム、次ハ東城川ノ南部流域ヲ劃スル山脈以南ノ地域ニシテ之ヲ小田川流域ト